

## 数学の出題のねらい

数学Ⅰ・Aに関する基本的な事項の習得度合いおよびその応用力をみることをねらいとしています。具体的には、基礎的な計算能力、関数について考察する能力、確率を事象の考察に活用する能力、定理を図形の計量に活用する能力などを総合的にみることを意図した出題を心掛けました。

## 2026 年度 数学 略解

### 第 1 問

#### 問題 1

$$3x^2 - 8xy - 3y^2 + 18x + 16y - 21 = (x - 3y + 7)(3x + y - 3)$$

#### 問題 2

$x, y$  の最大公約数を  $g$  とすると,  $x, y$  は次のように表される.

$$x = gx', \quad y = gy'$$

ただし,  $x', y'$  は互いに素な自然数で,  $x' < y'$  である.

$$\text{積が } 4032 \text{ であるから, } g^2x'y' = 4032 \quad \textcircled{1}$$

$$\text{最小公倍数が } 336 \text{ であるから, } gx'y' = 336 \quad \textcircled{2}$$

①, ②より,

$$g = 12$$

よって,

$$x'y' = 28$$

これを満たす  $x', y'$  の組は

$$(x', y') = (1, 28), (4, 7)$$

したがって,

$$(x, y) = (12, 336), (48, 84)$$

### 問題3

40個の値の総和は  $8 \times 10 + 12 \times 30 = 440$  である.

よって、全体の平均値は  $440 \div 40 = 11$  となる.

次に、グループ A の 10 個の値を  $x_1, x_2, \dots, x_{10}$  と示し、グループ B の 30 個の値を  $x_{11}, x_{12}, \dots, x_{40}$  と示すことにする.

このとき、グループ A の値の分散について、 $12 = \frac{1}{10}(x_1^2 + x_2^2 + \dots + x_{10}^2) - 8^2$  とおくことができるので、 $(x_1^2 + x_2^2 + \dots + x_{10}^2) = 760$  となる.

また、グループ B の値の分散について、 $16 = \frac{1}{30}(x_{11}^2 + x_{12}^2 + \dots + x_{40}^2) - 12^2$  とおくことができるので、 $(x_{11}^2 + x_{12}^2 + \dots + x_{40}^2) = 4800$  となる.

よって、全体の分散は、 $\frac{1}{40}(760 + 4800) - 11^2 = 18$  となる.

## 第2問

### 問題1

$f(x) = 3x^2 + 6mx + m + 4$ とし、方程式 $f(x) = 0$ の判別式を $D$ とする。異なる2つの正の実数解を持つための条件は、

$$(i) \quad D > 0, \quad (ii) \quad \text{軸} > 0, \quad (iii) \quad f(0) > 0,$$

の3つである。

$$(i) \quad D > 0 \text{ から, } D = 3(3m - 4)(m + 1) > 0 \quad \text{よって, } m < -1, \quad m > \frac{4}{3}$$

$$(ii) \quad \text{軸} > 0 \text{ から, } -m > 0 \quad \text{よって, } m < 0$$

$$(iii) \quad f(0) > 0 \text{ から, } m + 4 > 0 \quad \text{よって, } m > -4$$

$$(i), (ii), (iii) \text{ の共通範囲を求めて } \quad -4 < m < -1$$

### 問題2

$f(x) = 3x^2 + 6mx + m + 4$ とし、方程式 $f(x) = 0$ の判別式を $D_1$ とする。 $g(x) = x^2 + 3x + m$ とし、方程式 $g(x) = 0$ の判別式を $D_2$ とする。一方だけが実数解をもつのは、 $D_1 \geq 0$ と $D_2 \geq 0$ の一方だけが成り立つときである。

$$D_1 \geq 0 \text{ から, } D_1 = 3(3m - 4)(m + 1) \geq 0 \quad \text{よって, } m \leq -1, \quad m \geq \frac{4}{3}$$

$$D_2 \geq 0 \text{ から, } D_2 = 9 - 4m \geq 0 \quad \text{よって, } m \leq \frac{9}{4}$$

したがって、

$D_1 \geq 0, D_2 \geq 0$ の一方だけが成り立つ  $m$  の範囲は、

$$m > \frac{9}{4}, \quad -1 < m < \frac{4}{3}$$

### 第3問

#### 問題1

緑色以外の取り出されたボールは箱に戻らないので、

$$\begin{aligned} P(2 \text{ 番目に青}) &= P(1 \text{ 番目に緑, } 2 \text{ 番目に青}) + P(1 \text{ 番目に青, } 2 \text{ 番目に青}) \\ &\quad + P(1 \text{ 番目に赤, } 2 \text{ 番目に青}) + P(1 \text{ 番目に白, } 2 \text{ 番目に青}) \\ &= \frac{1}{10} \times \frac{2}{10} + \frac{2}{10} \times \frac{1}{9} + \frac{3}{10} \times \frac{2}{9} + \frac{4}{10} \times \frac{2}{9} = \frac{89}{450} \end{aligned}$$

#### 問題2

条件付き確率の定義より

$$P(3 \text{ 番目に緑} | 2 \text{ 番目に青}) = \frac{P(2 \text{ 番目に青, } 3 \text{ 番目に緑})}{P(2 \text{ 番目に青})}$$

緑色以外の取り出されたボールは箱に戻らないので、

$$\begin{aligned} P(2 \text{ 番目に青, } 3 \text{ 番目に緑}) &= P(1 \text{ 番目に緑, } 2 \text{ 番目に青, } 3 \text{ 番目に緑}) \\ &\quad + P(1 \text{ 番目に青, } 2 \text{ 番目に青, } 3 \text{ 番目に緑}) \\ &\quad + P(1 \text{ 番目に赤, } 2 \text{ 番目に青, } 3 \text{ 番目に緑}) \\ &\quad + P(1 \text{ 番目に白, } 2 \text{ 番目に青, } 3 \text{ 番目に緑}) \\ &= \frac{1}{10} \times \frac{2}{10} \times \frac{1}{9} + \frac{2}{10} \times \frac{1}{9} \times \frac{1}{8} + \frac{3}{10} \times \frac{2}{9} \times \frac{1}{8} + \frac{4}{10} \times \frac{2}{9} \times \frac{1}{8} = \frac{11}{450} \end{aligned}$$

問題1より、 $P(2 \text{ 番目に青}) = \frac{89}{450}$ なので、求める条件付き確率は

$$P(3 \text{ 番目に緑} | 2 \text{ 番目に青}) = \frac{11}{450} \div \frac{89}{450} = \frac{11}{89}$$

### 問題3

2番目に引いた人がもらえるりんごの個数の期待値の計算式は、

$$10 \times P(2 \text{ 番目に緑}) + 5 \times P(2 \text{ 番目に青}) + 3 \times P(2 \text{ 番目に赤}) \\ + 1 \times P(2 \text{ 番目に白})$$

となる.

ここで、

$$P(2 \text{ 番目に緑}) = P(1 \text{ 番目に緑, 2 番目に緑}) + P(1 \text{ 番目に青, 2 番目に緑}) \\ + P(1 \text{ 番目に赤, 2 番目に緑}) + P(1 \text{ 番目に白, 2 番目に緑}) \\ = \frac{1}{10} \times \frac{1}{10} + \frac{2}{10} \times \frac{1}{9} + \frac{3}{10} \times \frac{1}{9} + \frac{4}{10} \times \frac{1}{9} = \frac{11}{100}$$

問題1より、

$$P(2 \text{ 番目に青}) = \frac{89}{450}$$

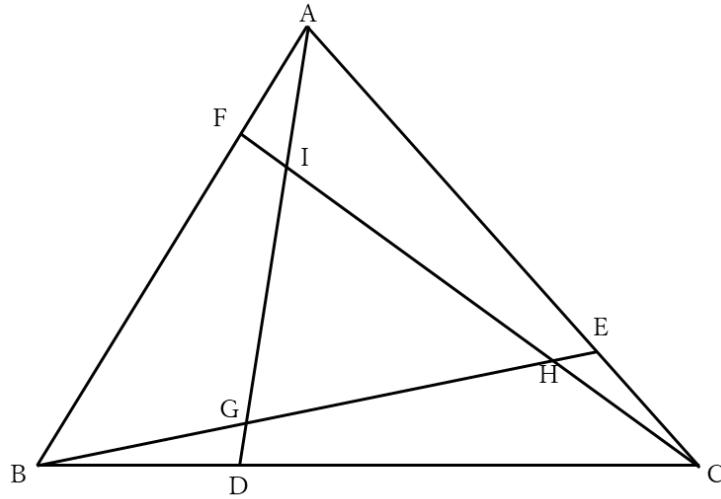
$$P(2 \text{ 番目に赤}) = P(1 \text{ 番目に緑, 2 番目に赤}) + P(1 \text{ 番目に青, 2 番目に赤}) \\ + P(1 \text{ 番目に赤, 2 番目に赤}) + P(1 \text{ 番目に白, 2 番目に赤}) \\ = \frac{1}{10} \times \frac{3}{10} + \frac{2}{10} \times \frac{3}{9} + \frac{3}{10} \times \frac{2}{9} + \frac{4}{10} \times \frac{3}{9} = \frac{89}{300}$$

$$P(2 \text{ 番目に白}) = P(1 \text{ 番目に緑, 2 番目に白}) + P(1 \text{ 番目に青, 2 番目に白}) \\ + P(1 \text{ 番目に赤, 2 番目に白}) + P(1 \text{ 番目に白, 2 番目に白}) \\ = \frac{1}{10} \times \frac{4}{10} + \frac{2}{10} \times \frac{4}{9} + \frac{3}{10} \times \frac{4}{9} + \frac{4}{10} \times \frac{3}{9} = \frac{89}{225}$$

したがって、求める期待値は

$$10 \times P(2 \text{ 番目に緑}) + 5 \times P(2 \text{ 番目に青}) + 3 \times P(2 \text{ 番目に赤}) \\ + 1 \times P(2 \text{ 番目に白}) \\ = 10 \times \frac{11}{100} + 5 \times \frac{89}{450} + 3 \times \frac{89}{300} + 1 \times \frac{89}{225} = \frac{3037}{900}$$

## 第4問



### 問題1

△ABC で余弦定理より,

$$\cos \angle ABC = \frac{AB^2 + BC^2 - CA^2}{2 \cdot AB \cdot BC} = \frac{7^2 + 9^2 - 8^2}{2 \cdot 7 \cdot 9} = \frac{11}{21}$$

BD : DC = 1:2 なので,

$$BD = \frac{1}{3} BC = 3$$

$\cos \angle ABC = \cos \angle ABD$  であることから, △ABD で余弦定理より,

$$AD^2 = AB^2 + BD^2 - 2 \cdot AB \cdot BD \cdot \cos \angle ABD = 7^2 + 3^2 - 2 \cdot 7 \cdot 3 \cdot \frac{11}{21} = 36$$

AD > 0 なので,

$$AD = \sqrt{36} = 6$$

## 問題2

△ABD と線分 CF でメネラウスの定理より,

$$\frac{BC}{CD} \cdot \frac{DI}{IA} \cdot \frac{AF}{FB} = 1$$

から,

$$\frac{DI}{IA} = \frac{FB}{AF} \cdot \frac{CD}{BC} = \frac{5}{2} \cdot \frac{2}{3} = \frac{5}{3}$$

よって, IA:DI = 3:5

AD = DI + IA = 6 なので,

$$IA = \frac{3}{8}AD = \frac{9}{4}$$

次に△ACD と線分 BE でメネラウスの定理より,

$$\frac{CB}{BD} \cdot \frac{DG}{GA} \cdot \frac{AE}{EC} = 1$$

から,

$$\frac{DG}{GA} = \frac{BD}{CB} \cdot \frac{EC}{AE} = \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{3} = \frac{1}{9}$$

よって, GA:DG = 9:1

AD = DG + GA = 6 なので,

$$GA = \frac{9}{10}AD = \frac{27}{5}$$

以上から,

$$GI = GA - IA = \frac{63}{20}$$